

令和7年度研究プロジェクト計画概要

研究種別	■自主研究 15	公益目的事業 11
主査名	高橋愛典 近畿大学教授・松澤俊雄 大阪市立大学名誉教授	
研究テーマ	地域・都市交通政策の再評価と再構築に向けて	
<p>今年度は、「地域・都市の総合交通政策」を対象とする当プロジェクトが従来持ち合わせてきた視野の広さを活用しつつ、地域・都市交通政策の概念および課題の再認識と再構築を目標とする。そのためには、昨年度取り上げた労働力不足のような最新の問題にも対応しつつ、一昨年度のテーマとしたモビリティに関する概念的および政策的な考察も続ける。対象地域を首都圏以外の大都市圏（特に郊外）および地方都市に絞り込む点と、個別交通手段（マイカー等）と公共交通（バス・地域鉄道・路面電車・LRT等）や旅客交通と貨物輸送の運営・整備面での一体的検討を試みる点でも、これまでの当プロジェクトの手法と成果を踏襲する。</p> <p>本研究における総合交通政策は「インフラの整備と運営」「地域（都市）内交通と地域（都市）間交通」「旅客輸送と貨物輸送」「個別交通手段（マイカー等）と路面公共交通（バス・路面電車・LRT）」のそれぞれを一体的に検討し、さらにこれら要素をシームレスに統合することで得られる、政策的示唆の体系を意味している。</p> <p>より具体的には、令和6年度の成果として、上記の問題意識を堅持しつつも、昨今急速に深刻化している交通関連の労働力不足へのアプローチを試みた。特に、バス、トラック、タクシーについて各事業の特性を踏まえた総論的検討と、バス事業者の実情把握と今後の方向性に関する将来展望を組み合わせる議論を行った。ほかにも、海外事例の検討（韓国におけるバス準公営制導入のその後）と日本への示唆の導出などを進め、各種の研究成果を積み重ねてきた。</p> <p>本年度は、これまでの研究成果を総括・再検討し、その視野の広さを活用しながら、「総合交通政策」の概念面および実践（政策）面からの再評価ならびに再構築を志向したい。「インフラの整備と運営」「地域（都市）内交通と地域（都市）間交通」「旅客輸送と貨物輸送」「個別交通手段（マイカー等）と路面公共交通（バス・路面電車・LRT）」「生活交通と観光交通」の政策上の統合可能性や整合性について考察するのがその例である。</p> <p>研究方法としては、データ分析と現地調査という2つの手法を活用する。当プロジェクトの特徴の一つは、研究メンバーのほとんどが京阪神都市圏在住・在勤という点であり、首都圏以外の大都市圏、さらには地方都市に着目することは、従前のおりである。</p>		